2026 年 11 月 16 日

各位

会　社　名　Sansan 株式会社
代表者名　代表取締役社長／CEO　寺田 親弘
（コード番号：4443　東証プライム市場）
問合せ先　取締役／執行役員／CFO　橋本 宗之
（電話番号：03-6758-0033）

統合報告書 2026 の公開に関するお知らせ

当社は、「統合報告書 2026」を発行したことをお知らせします。本報告書では、AI 時代における「SaaS の存在価値」を巡る資本市場の問いに対して、6 つの視点から、当社グループの持続的な競争優位性や成長の可能性をお伝えします。



▼統合報告書 2026
https://ir.corp-sansan.com/ja/ir/library/report.html

本報告書の表紙には、2026 年 5 月から放映を開始した当社のテレビ CM の一幕を採用しました。この CM シリーズでは、AI を動かすには、基盤となるビジネスデータそのものが求められること、さらにデータの「量」だけでは不十分であり、その「質」が AI の性能を決定づけることを象徴的に表現しています。

■「統合報告書 2026」について

当社グループは、2020 年から統合報告書を発行し、ステークホルダーの皆さまとの重要なコミュニケーションツールとして、財務・非財務の両面から当社グループの網羅的な情報を発信してきました。また、積極的な情報開示を通じて、これまでの統合報告書をはじめ、ウェブサイトや ESG、IR 活動に関するさまざまな外部評価を国内外の第三者機関から獲得しています。

この度公開した「統合報告書 2026」では、これまでの構成を刷新し、本書の担うべき役割を、AI 時代における「SaaS の存在価値」を巡る資本市場の問いに明確にお答えすることと位置付けています。その上で、掲載内容を当社の価値創造ストーリーを理解するために重要な事項に絞り、より簡潔にまとめました。



生成 AI の進化を背景に、資本市場の一部では「SaaS is dead」といった見方がある一方、当社グループは、生成 AI の台頭を大きな事業機会と捉えています。創業以来磨き続けてきた、企業固有の一次情報を高精度にデータ化する技術と、その情報を必然的かつ継続的に取得できるビジネスモデルは、当社グループがもつ構造的な競争優位性です。生成 AI の進化によって、こうした一次情報の活用可能性はさらに広がり、顧客に対して一層大きな価値を提供できると考えています。本報告書では、こうした強みを活かし、当社グループがどのように競争優位性を維持・強化し、中長期的な成長を目指していくのかを具体的にお伝えします。

また、当社グループの生成 AI 活用について理解を深めていただくため、第 4 章「人材戦略」と第 5 章「研究開発」にそれぞれ特集を設けています。

人材戦略の特集「『AI ファースト』の現在地」では、2025 年のテーマに「AI ファースト」を掲げて以降、生成 AI 活用率 100%の達成や業務時間 10 万時間以上の削減といった成果を上げてきたことをご紹介します。あわせて、AI を活用した業務効率化によって創出した時間を活かし、事業成果への貢献を追求する現在の取り組みをお伝えします。

研究開発の特集「AI でデータ化をさらに進化させる」では、名刺・請求書・契約書等の情報を正確な構造化データへと変換する、創業以来磨き続けてきたデータ化技術に生成 AI を組み合わせ、独自の生成 AI モデルによってさらなる高度化を進めている取り組みをご紹介します。

今後もSansanは、働き方を変えるAXサービスを提供する企業として、AI時代の持続的な企業価値の向上や社会課題の解決に向けた当社グループの取り組みをご紹介できるよう発信強化に努めます。

以上